

市民が主人公の自治体らしい自治体の実現へ

日本共産党
京都市議団

くらし・福祉応援の市政転換へ 市民との共同で市政を動かす

市民の願いを議会へ届け、
実現までがんばります

くらし・中小企業応援に全力

緊急借換融資制度の継続と拡充が実現しました

中小企業・業者のみなさんの運動がみのった借換融資制度（複数の融資を一本化）が、さらに期間延長、拡充することになりました。民間金融機関融資も対象にしたいと答弁しています。中小業者への朗報です。

法人市民税軽減措置廃止にきっぱり反対

中小企業がつくる企業組合などに長年実施してきた市民税の軽減措置を「不公平だから」と廃止を提案した京都市。日本共産党だけが反対しました。

貸しはがし・貸し渋りの防止へ

金融機関の貸しはがし・貸し渋りは、はじめにがんばる中小企業をつぶすものです。地域経済を活性化させる貸しはがし・貸し渋り防止条例制定をめざします。



医療・介護の負担軽減へ

介護保険料の減額措置拡充へ、保険料値上げ許さず

介護保険料・利用料の減免制度を求める大きな運動と結んだ徹底した論戦が保険料減額措置の実現につながりました。来年度は、大幅な保険料値上げが考えられています。値上げ許さずがんばります。

医療費負担の軽減へ、具体的な提案

高齢者の窓口負担が1割となって、病院にいけない方、在宅酸素治療を中止する方まで出ています。せめて上限額を超える窓口負担の立て替え払い制度の実施を提案しています。



子育て支援の充実

三十人学級へ大きな一歩・「三五人」を全学年に

政令市で初めての三十五人学級が来年度の小学校一年生から始まりま。長年ねばり強く求め続けた市民の請願に反対し続けたのは自民・公明・民主のオール与党でした。さらに三十人学級実現に向けがんばります。

子どもの医療費助成の拡充へ

京田辺市や亀岡市でも、子どもの医療費助成は小学校入学前までに広がっています。京都市でも実施に向けた検討が始まります。

ムダづかいの大型公共事業見直しを

市内高速道路は今こそ中止

ムダと環境破壊の市内高速道路計画のどれもが、採算の見通しがいい道路であることが、民営化推進委員会でも明らかにになりました。こんなムダ使いは今こそやめるべきです。

スケボー施設が実現に



青年の要求運動が実り、南区・火打形公園に整備されます。日本共産党は唯一紹介議員になり、求めてきました。

不況で苦しむ市民に追い打ち、悪政に「何でも賛成」のオール与党

自民・公明・民主

- 市バス・地下鉄運賃や国保料値上げ、大型ゴミ有料化、上下水道料金値上げ、保育料値上げなど……合計181億円の負担増
- ムダな大型公共事業の推進……迎賓館、市内高速道路、PFIの導入でさらに呼び込み型の開発

京都市の公明党、福祉・平和の党といえるのでしょうか

■医療改悪を推進し、有事法制にも熱心な公明党。京都市では、国保料の値下げを求める請願や敬老乗車証の廃止・縮小計画の撤回を求める請願にも反対しています。「有事法制の制定を求める意見書」を自民党と一緒に強行しています。

同和研修事業で
公金不正支出
43件、4,057万円

部落解放同盟の各支部の研修に対する市の補助金が、不正支出だったことが裁判所の調査で判明しました。実態は、カラ研修やコンパニオンを呼んだ宴会さんまい、その上水増し請求まで。日本共産党市議団は、各支部に公金の返還を求めよう追及しましたが、市長は調査するというばかりです。市民に痛みを押し付けながら、部落解放同盟には、こづかいのように公金を支出していたのですからとんでもありません。同和行政終結を選挙公約にかかげた市長の責任は重大です。不正を許さず、とことんがんばります。

カラ事業、水増し請求…例えば

「解同」支部名 実施日	田中支部 97年4月18日 ～19日	千本支部 98年2月15日 ～16日
助成金額	110万円	115万円
宿泊地	三重・鳥羽	兵庫・湯村温泉
宿泊先の回答	該当なし	コンパニオンを呼んだ宴会で22万円、麻雀など支払い68万円

※千本支部はこのとき、宿泊料18,000円×22人を26,000円×118人と報告。